

# きかわだ STATION

自立と誇りある日本をつくる

## ～衆議院予算委員会質疑のご報告～ 拉致問題の取り組みと外国人の入国審査強化

きかわだひとしが取り組む詳しい政策は下記QRコードから公式HPをご覧ください

自民党埼玉県第三選挙区支部  
(衆議院議員黄川田仁志事務所)  
電話 048-962-8005  
FAX 048-961-8905



第101号

『きかわだステーション』  
令和7年3月発行

公式ホームページ [www.kikawadahitoshi.jp](http://www.kikawadahitoshi.jp)



### 衆議院予算委員会質疑より 拉致問題の取り組みと外国人の入国審査強化

2月17日(月)に開催されました衆議院予算委員会で、石破総理や岩屋外務大臣に対し、質疑を行いました。当日、NHKの中継もあったことから、地域の皆様にも多くご視聴いただき、感想やご意見をお寄せいただきました。ありがとうございます。40分間の質疑で、5つのテーマについて質疑しましたが、今号では、特に北朝鮮の拉致問題に対する政府の取り組みについてと、入国審査における電子渡航認証システムの導入について、ご報告させていただきます。

#### 北朝鮮による拉致問題について

まず、北朝鮮の拉致問題についてです。今国会で、私は、衆議院の北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会の筆頭理事をしていることから、取り上げさせていただきました。

拉致問題への取り組みについて、私から石破総理に2つのお願いをしました。どちらも、拉致問題を解決に導くために、とても大切なことです。

一つは、米国のトランプ大統領の公式の訪日を1日も早く実現させ、拉致被害者のご家族と直接面会する場を必ず設定してほしいということです。くしくも、この質疑の前日、拉致被害者の有本恵子さんのお父様であります有本明弘様が96歳でお亡くなりになったとの報道がありました。

1分1秒でも早く、解決に向けた取り組みを

進める必要があります。そのような中で、米国の確固たる協力は不可欠です。第一次政権でも、拉致問題に高い関心を持っていたトランプ大統領に、改めて、拉致問題の非人道性とご家族の思いを伝えることはとても重要であります。石破総理からは、トランプ大統領の来日の際には、ご家族との面会の場を設定できるよう、積極的に米国側に働きかけることをお約束いただきました。 裏面に続く



衆議院予算委員会はテレビでおなじみの第一委員室で開催